

研究課題名

吐血症例に対する後方視的検討

研究グループ

研究責任者：中西孝之

共同研究者：長尾涼太郎、木村有志、河口順司、田上真

研究の目的および概要

“吐血症例に対する後方視的検討”の調査への協力をお願い

消化器内科では、消化管病変出血が疑われるかたに対して消化管内視鏡検査を行っております。内視鏡治療は、経口的に全ての処置を行うことで、低侵襲な治療と考えられています。今回、吐血を来たず病態に対して内視鏡処置を含む治療の臨床経験を蓄積し治療法の安全性・有用性を検討するために、後ろ向き研究（これまでの臨床データを解析して、治療成績や患者さんの自然経過を見させていただく研究）を行います。

2012年4月から2023年3月までの間に、吐血を訴えとしてこられ、内視鏡処置を含む治療を受けられた方を対象として、問診、内視鏡処置内容、血液検査結果、画像検査などの診療録の情報を調査いたします。

この研究は、過去の診療記録を用いて行われており、該当する方の現在・未来の診療内容には全く影響を与えませんし、不利益を受けることもありません。解析にあたっては、個人情報には匿名化させていただき、その保護には十分に配慮いたします。当然ながら、学会や論文などによる結果発表に際しても、個人の特定が可能な情報は全て削除されます。

この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合には、以下にご連絡いただきたいと思っております。なお、本研究は、松波総合病院倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

利用する情報の項目

カルテ情報：診療録

利用するものの範囲

中西孝之、長尾涼太郎、木村有志、河口順二、田上真

連絡先

松波総合病院 消化器内科 中西孝之

Tel: 058-388-0111(代)、 Fax: 058-388-471